

目次

■巻頭言

戦後七〇年 今、よみがえる石橋湛山……………現代宗教研究所長 三原正資……………1

■第四十八回中央教化研究会議

基調報告 三大誓願に生きる 石橋湛山の信仰……………三原正資……………6

基調講演 石橋湛山―平和への願いと行動―……………早川誠……………19

記念講演 生かされている使命……………三田村日正……………50

全体会議（分科会報告）……………69

■研究ノート

教学をどう捉えるか―現代化のために―……………岩田親静……………101

顕正会会館の調査報告……………小瀬修達……………118

現代人の御朱印巡り行動と宗教意識について―今後の研究に向けて―……………津幡法胤……………151

科学と仏教の間―疑似科学を題材として―……………蓮見高円……………162

経済格差と教育機会……………鶏内泰寛……………179

過疎地域寺院活性へ向けた取り組み―先行事例から学ぶ―……………河崎俊宏……………194

子どもの貧困問題について……………鈴木是妙……………208

近現代日蓮宗における「御降誕」事業の研究①―大正十年「聖誕七百年」の一考察―	池浦英晃	224
インターネット経由による僧侶派遣の实情と展望について	藤崎善隆	239
災害復興とソーシャル・キャピタル・宗教の役割		
―震災復興に宗教がソーシャル・キャピタルとして機能するのか―	小林康洋	252
日本仏教各宗派による海外布教事情を探る	川口智徳	267
■研究・調査プロジェクト報告		
「科学と宗教」PT報告 生命倫理の諸問題に向き合う	藤崎善隆	282
「日蓮宗の寺庭婦人」PT報告 寺庭婦人としての立場における如来使の自覚	延本妙泉	300
■平成二十七年日蓮宗現代宗教研究所彙報		
研究員・顧問・嘱託名簿		316
人 事		318
研究・調査分担一覧		320
平成二十七年事業報告		323
平成二十八年事業計画案		336
■編集後記		338
■執筆者一覧		339